

大学院生シンポジウムGS-2

領域を超えて金属・金属化合物を語ろう

Let's Discuss Metals and Metal Compounds across the Research Fields

藤江 智也¹, 金澤 純一郎²

¹東京理大薬, ²東大院薬

薬学において、金属・金属化合物は、様々な視点から研究対象になっている。例えば、物理領域では分子認識のツールであり、化学領域では分子変換反応に不可欠な試薬であり、生物領域では生体の機能調節を行うメッセンジャーであり、衛生領域では細胞傷害メカニズムと防御系を解明する毒物であり、環境科学領域では動態・環境中代謝の解明とその応用を研究する対象である。年会などでは類似の対象がまったく異なる視点から研究されていることに気づく。同一の対象に対する多様な視点は研究の新しい発展をもたらす可能性があると思われるが、日頃の研究活動においてそのような多様な視点から実験結果をディスカッションすることはない。本シンポジウムにおいては、金属・金属化合物を共通の研究対象としているこれら多領域の院生・学生が一堂に会し、それぞれの研究を発表するとともに、それに対し異なる視点からのディスカッションを行うことによって、今後の研究に生きる新たな視点を生み出す。